

地球の  
「いきいき」の  
ために

# 空容器問題への取り組み

リデュース、リユース、リサイクルの3Rにリフューズを加えた4Rに取り組んでいます。

## 4Rの推進による空容器問題への対応

### 空容器の発生回避に向けて

宝酒造では、焼酎や清酒、チューハイ、本みりんなどを製造し、ガラスびんやPETボトル、アルミ缶、紙パックなどさまざまな容器に充填して販売しています。ところが、これらの商品を販売し中身が消費された後に発生する空容器は、社会に大きな環境負荷を与えています。

当社ではこの空容器の問題に対処するため、リデュース (Reduce: 減量化)、リユース (Reuse: 再使用)、リサイクル (Recycle: 再資源化) の3Rにリフューズ (Refuse: 発生回避) を加えた4Rの取り組みを進めています。リフューズとは、余分な物は買わずに必要な物だけを買うことにより、ごみを減らす活動です。

**3R+R**  
Reduce (減量化)  
Reuse (再使用)  
Recycle (再資源化)  
Refuse (発生回避)



はかり売り

F: TaKaRaエコプロダクツ

2: 720ml リターナブルびんの推移

### 自社での取り組み

宝酒造では、焼酎の「はかり売り」を展開しています。「はかり売り」は、余分な容器を購入せず必要な分だけ中身を買うという意味でリフューズにあたります。

また、ISO14001の目標に「環境配慮型商品の開発」を掲げ、毎年2件以上の商品改良や開発を行うことを目標として活動しています。

#### 2010年度の環境配慮型商品の開発・改良事例

- 本格焼酎1.8ℓびんの外箱を一部ダンボールからP箱 (プラスチック製の通い箱) に変更
- 清酒ギフトに軽量化びん (-40g/本) を採用

3: 環境に配慮した商品開発のための指針

4: グリーン調達・4Rガイドライン

### 各種団体との連携による取り組み

空容器問題の解決には、関連する業界全体での取り組みが不可欠です。効率的なリサイクルシステムの構築や機関誌・ホームページ・展示会などを通じた容器リサイクルの啓発活動などは、関連する業界全体で取り組むことが効果的です。

宝酒造では、ガラスびんやPETボトルなど種々の容器について、関連のリサイクル団体に加入。各団体の活動に積極的に参加しています。

#### 宝酒造が加入している主なリサイクル団体

- ガラスびんリサイクル促進協議会
- PETボトルリサイクル推進協議会
- アルミ缶リサイクル協会
- 紙製容器包装リサイクル推進協議会
- 酒パックリサイクル促進協議会

### VOICE

#### 関係者が一体となって、 ガラスびんの資源循環を推進しています

ガラスびんリサイクル促進協議会は、ガラスびんメーカー、中身メーカー、びん回収業、カレット (ガラスくず) 回収業などガラスびんの資源循環にかかわるさまざまな事業者で構成されています。ガラスびんの環境負荷を低減し、資源循環型社会の構築に寄与するため、会員相互の情報交換や関係者と連携を図りながら積極的に活動しています。

現在、当協議会では、容器の軽量化をさらに進めるとともに、カレット回収量の増量と資源循環の強化に取り組んでいます。また、くり返し利用できるリターナブルびん商品が減少する中、ガラスびんリユースシステムを存続させることも重要な課題です。国・自治体・事業者・消費者などすべての関係者が協力し、取り組まなければならないと考えています。

当協議会は、これからも宝酒造様をはじめ会員の皆様方とともにガラスびんの資源循環に取り組んでいきます。

ガラスびんリサイクル促進協議会  
事務局長  
幸 智道様

